資料　３

# 走水・馬堀地域における現状等について

## １　課題

（１）馬堀中学校区にある３つの小学校（走水小学校・馬堀小学校・望洋小学校）の小規模化が進んでいる。

（２）特に走水小学校は児童数が 32 人と市内で最も小規模であり、隣接する馬堀小学校も単学級が存在する小規模校で、今後も児童数、学級数の減少が見込まれる。

（３）望洋小学校も学区内の大規模開発から 20 年が経過した現在 10 学級であり、令和 11 年度（2029 年度）には８学級となることが見込まれ、将来的には望洋小学校も含めた馬堀中学校全体で小中一貫教育の観点も踏まえた学校の再配置を検討する必要がある。

## ２　現状

（１）走水・馬堀地域小学校児童・学級数（令和５年５月１日現在）

| 学年 | 走水小学校 | | 馬堀小学校 | | 望洋小学校 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 |
| １年 | ４（０） | 1 | 42（２） | ２ | 34（１） | １ |
| ２年 | １（０） | | 42（３） | ２ | 36（２） | １ |
| ３年 | ５（０） | １ | 46（３） | ２ | 40（２） | ２ |
| ４年 | 10（３） | １ | 33（１） | １ | 43（２） | ２ |
| ５年 | ４（１） | １ | 54（４） | ２ | 44（４） | ２ |
| ６年 | ８（１） | １ | 46（４） | ２ | 48（０） | ２ |
| 合計 | 32（５） | ７（２） | 263（17） | 16（５） | 245（11） | 12（２） |

※（　）は特別支援学級の内数

（２）走水・馬堀地域小学校児童・学級数推計

| 学校名 | | | Ｒ５ | Ｒ６ | Ｒ７ | Ｒ８ | Ｒ９ | Ｒ10 | Ｒ11 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 走水小 | 児童数 | | 32 | 30 | 32 | 31 | 31 | 36 | 37 |
| | 学級数 | 通常 | ５ | ５ | ５ | ５ | ５ | ６ | ６ |
| | | 特支 | ２ | ２ | ２ | ２ | ２ | ２ | ２ |
| 馬堀小 | 児童数 | | 263 | 253 | 236 | 249 | 239 | 231 | 223 |
| | 学級数 | 通常 | 11 | 11 | 11 | 12 | 11 | 10 | ９ |
| | | 特支 | ５ | ５ | ５ | ５ | ５ | ５ | ５ |
| 望洋小 | 児童数 | | 245 | 231 | 224 | 220 | 216 | 206 | 199 |
| | 学級数 | 通常 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | ９ | ９ |
| | | 特支 | ２ | ２ | ２ | ２ | ２ | ２ | ２ |

３　複式学級について

法令上、二つの学年の児童の合計が 16 人以下（１年生を含む場合は８人以下）の場合、その複数学年の児童は１学級に編制される。

これまで走水小学校は、合計が 16 人以下となる学年があり、法令上、複式学級の編制対象であったが、一学年の児童が１人にならない限り、神奈川県から教員の加配措置が行われるため、複式学級の編制には至らなかった。

今年度、２年生の児童が１人となったため、加配措置がなされず、市内で初めて複式学級が開始されることとなった。

※関係法令・・・公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律